

第29回高知県公立大学法人評価委員会 議事要旨

令和元年8月29日(木) 13:30~14:10

場所：高知会館 2階天平

出席者

評価委員：宮田速雄(委員長) 森下勝彦 木村靖二 寺田覚 井瀬潔
県：西本私学・大学支援課長 大崎課長補佐 石田チーフ 小笠原主幹

委員長 前回の評価委員会における審議に基づき、事務局より評価書案を各委員の皆様にお送りしたところ、県立大学の図書除却及び工科大学の社会貢献に関する評価等についてご意見を頂いた。まず図書除却について。

A委員 これは計画にはないものではあるが、計画になかったからといって評価をしないことで良いのか。事後の対応が良いということであっても、評価は4で良いのか、3にするのが適当ではないかという提案である。

委員長 いわゆる焚書ではないと思うが、県民に対してショックを与えた出来事であった。先ほど仰られたように計画にはもともと入っていないことではあるが、皆様のご意見はどうか。

B委員 評価をエクセレントにする場合は計画になかったからということで、S評価にしていないか。そう考えると、計画にないから入れない、というのはおかしい。今回は評価はどうであれ、説明のところには自戒を込めてしっかり書くべきではないか。

委員長 仮に評価を3に落とした場合、教育全体の評価を下げた理由が分からない。今の評価書案では図書の除却があったことが書かれていないが、説明を書いた方が後に残る。

A委員 除却の方法について配慮が十分ではなかった、と記載してはどうか。

委員長 そのようにしたい。では評価はどうするか。

A委員 評価自体は計画を重視したものであり、計画の達成度をみるものことから評価はこのまま4で良いのではないか。

委員長 評価は修正せず、図書に関する文言を加えることとし、文言の書き方は委員長に一任して頂いてよろしいか。

他委員 異議なし

委員長 次に工科大学の社会貢献の評価について。

B委員 業務実績報告書に書いていないことがあるのではないかと調べたところ津波センサーを多数設置できたことが分かったが、業務実績報告書に書かれていないことを特筆すべき状況とは言わないため、何を特筆すべき状況と言っているのか知りたかった。

事務局 工科大学に確認したところ、予定したとおりの強化であったとのことだった。

委員長 工科大学の社会貢献はよくやっていると思うが、4も高い評価であり、4に変更してよろしいか。

他委員 異議なし

事務局 県立大学において発生した不正アクセスによる情報漏洩について、説明する。この点については、事案の重大性に鑑み、評価書案の8ページ「その他業務運営に関する重要事項を達成するための措置」に追記しており、これを加味して、この項目の従前の評価4を3にしてはどうか、ご審議をお願いする。

A委員 学内で処分はあったのか。このことに対して関係部局が責任を負うのか、警察マターになっているのか。

事務局 現在も警察が捜査中と聞いている。平成30年度中に事案が起こったということで文章を追記したものである。

委員長 被害者ではあるが、自分たちの管理が不十分であったために起こったことである、という意識を持たなければいけない。
評価書案のとおり3としてよろしいか。

事務局 異議なし

委員長 他に意見がなければ、進行を事務局にお返しする。

事務局 高知県公立大学法人の平成30年度業務実績評価書については、この内容で知事に報告することとする。
本日の会は、これを持って終了する。(了)